

丹波市都市計画マスタープラン市民説明会 意見要旨及び対応方針等一覧

(1) 柏原地域 (令和3年10月21日開催)

意見	対応方針、修正内容等	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> まちづくりビジョンにおいて柏原地域には行政ゾーンが位置付けられているので、都市マスでも統合庁舎について何らかの方向性を記載すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりビジョンにおいて統合庁舎を行政ゾーンに含むとは記載しておらず、現時点で統合庁舎の場所を特定できる状況にならないため、記載は控えています。 	P9, 79-83
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の活性化について、中活計画は終了とのことだが、何らかの記載が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市でも中心市街地の重要性は認識しており、関係各課と調整した結果として現状の記載としています。今後取り組みの具体化を進めていきます。 	P80
<ul style="list-style-type: none"> 柏原の地域別構想で交流系市街地とあるが、駅前交流系市街地にならないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 柏原駅前市街地ゾーン及び交流ゾーンとして位置付けています。 	P83
<ul style="list-style-type: none"> 景観形成事業が今年度で終了するが、支援の継続を考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想で「城下町の町並みを生かした景観形成」を位置付けており、今後、市単独での補助継続は難しいですがそれに代わる方策を検討していきます。 	P80
<ul style="list-style-type: none"> 活動を停止している中心市街地活性化協議会の今後について、大枠として都市マスでも考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想で「中心市街地活性化や観光等と連携した交流の促進」を位置付けており、協議会のあり方も含めて中心市街地活性化の検討を進めていきます。 	P80
<ul style="list-style-type: none"> 前回の実現化方策は5ページだけで弱く感じる。もう少し踏み込んだ内容にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 記載項目は、前回計画を継承しますが、記載内容の充実を図ります。 	P123～125

(2) 氷上地域 (令和3年10月19日開催)

意見	対応方針、修正内容等	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 人口減少対策には雇用の場、企業誘致が有効。地元企業と地元が協力することで活気が出る。雇用の場を創ることで若い人が居続けるようになり、人口減少も緩和できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致や工業団地整備は全市的な取組として、都市マスの全体構想において記載しています(土地利用方針の工業拠点)。このため、地域別構想での重複記載は控えています。 	P57
<ul style="list-style-type: none"> 農業の後継者が減少し、農地を手放す人が増えている。そこに都会の業者が入り込んで太陽光発電を設置している。地主が都会の人(不在地主)だと管理も十分されない。市は協定でというが小規模の場合は自治会と協定を結ぶことになるだろうから、もっと行政が指導して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電施設については、アンケートでも聞いて、今回、新たに全市的事項として全体構想に記載しています(土地利用方針の集落・田園地区など)。このため、地域別構想での重複記載は控えています。 	P56-57
<ul style="list-style-type: none"> 氷上でも中心部は発展していくと思うが、周辺の山の方の集落は高齢世帯だけになるので問題。住み続けたいと思うが跡継ぎがいないので、後々は家も農地もどうすればいいかと悩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 氷上地域の構想で、中心拠点と各地区間を結ぶ交通手段の確保や、安全・安心で暮らしやすいまちづくりについて位置付けており、そうした取り組みを進めていきます。 	P90

(3) 青垣地域 (令和3年10月25日開催)

意見	対応方針、修正内容等	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 楽しく住み続けられる地域を作っていけるのか危惧している。中心部は発展していくかもしれないが周辺地域は制約ばかり。丹波市は広いので谷の隅々まで維持できるように施策を講じないと若い人も出て行ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 青垣地域の構想で、地域の暮らしを支える区域拠点の維持、移住定住促進、自治会での暮らしの維持、交通手段の確保などを位置付けており、そうした取り組みを進めていきます。 	P96-97
<ul style="list-style-type: none"> 自治振興会と自治会と、その関係性をどう考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の調整について検討し、「地域での暮らし」に表現を変更しました。 	P97
<ul style="list-style-type: none"> 過疎地域持続的発展計画の中でワークショップ等もしたが文言が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地域持続的発展計画については、連携すべき個別計画であること、また地域や期間が限られていることから、参考に留めますが、本計画に関連の強い内容については記載しています。 	P97
<ul style="list-style-type: none"> 中心部以外は駅からも遠いしバスも減ったし、車が無いと行けないのは課題。いろんな人が集まりやすくなれば、いい資源も活用できるのではと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通体系の構築は全市的事項であり全体構想で位置付けています。加えて、地域別構想では区域拠点と各地区間を結ぶ交通手段の確保について位置づけており、こうした取り組みを進めていきます。 	P61-62 P97
<ul style="list-style-type: none"> 観光交流のまちづくりをいうなら、自転車も考えに入れてはどうか。県によりサイクリングロードもできるようだし。そうした趣味性の高い自転車だけでなく、高校生の通学の自転車も多いので安全対策も重要。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体構想において「ひょうごサイクリングモデルルート」との連携や、歩行者・自転車利用を優先した散策道整備、さらに生活道路の一部としての通学路の安全施設整備について位置付けており、そうした取り組みを進めていきます。 	P61

(4) 春日地域 (令和3年10月18日開催)

意見	対応方針、修正内容等	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> JR黒井駅からの交通手段について検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒井駅は中心部に位置する3駅の一つであり、全体構想において、鉄道の利便性向上及び交通結節点機能の向上を位置付けています。さらに、拠点間を結ぶ交通機能の整備として春日地域の構想にも位置付けており、そうした取り組みを進めていきます。 	P61-62 P103
<ul style="list-style-type: none"> 黒井川の改修は、まず下流から、というのは分かるが、被害を受けているのは上流の舟城地区の方々。5年10年では無理だとは思いますが、安心して住めるように考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒井川の改修については、基本的には下流の県管理河川からで、その後に上流の市管理河川の順になります。都市マスでは県市両方の認識として防災上の課題認識を挙げ、一定の方向づけもしています。今後、河川整備計画など個別計画につなげていきます。 	P101、104
<ul style="list-style-type: none"> 「里山ウォーク」は、今はお休みしているので削除を。 	<ul style="list-style-type: none"> 削除しました。 	P100

(5) 山南地域 (令和3年10月26日開催)

意見	対応方針、修正内容等	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震発生の際には、JR加古川線、福知山線が谷川経由で播磨と大阪を結ぶ重要な代替ルートとなるので、防災機能の充実に関する記載が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画を毎年点検する中で、加古川線や谷川駅の代替ルートとしての記載について検討を進めます。 	—
<ul style="list-style-type: none"> 今後10年で人口減少と高齢化がこれまで以上に進む中、都市マスの施策には〇〇の活用や充実という表現が多いが、むしろ縮小や撤退が必要となるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の都市マスの前提となる、まちづくりビジョンの都市構造は、今後の人口減少や少子高齢化を想定したものです。現時点で具体の施設の縮小や統合、撤退等を進めるものは明確になっていませんが、今後個別計画策定の中で検討を進めていきます。 	計画全体

(6) 市島地域 (令和3年10月28日開催)

意見	対応方針、修正内容等	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 道路整備やスマートインターはもう無理なので見直すべきではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路については、関係機関と調整する中で、事業実施の見通しがあるものを記載しています。 	P119
<ul style="list-style-type: none"> 今の人口が持続する施策として、福知山のベッドタウンになるようなことを考えるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想の施策として、「福知山市との結びつきを生かした定住の推進」を位置付けており、地域内の空き家や遊休地を利活用した住宅の立地誘導や若い世代が魅力を感じる環境づくりなどを進めていくこととしています。 	P118

(7) 全体 (令和4年1月20日開催)

意見	対応方針、修正内容等	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が増えていく中で一番大事なのは公共交通。周辺部から中心部へ路線バスでは行きにくいしお金もかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の重要性は認識しています。都市マスにおいても課題、目標で位置付け、ネットワークを充実していく方向で示しています。 	P116, 117
<ul style="list-style-type: none"> 丹波は昔から日本海側と太平洋側を結ぶ拠点だったので、川を生かしたまちづくりをしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 川を生かしたまちづくりとして、氷上回廊水分れフィールドミュージアムの取組を進めています。 	P69
<ul style="list-style-type: none"> 青垣は公共交通の不満が大きいので、都市計画街路としてバイパスを広げてバス停を作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画街路は旧柏原町時代には街路整備をしてきましたが丹波市になってからは都市計画街路の整備は無く、道路整備計画に基づいて道路整備を進めてきています。 	P61
<ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシーも、旧町を出られない、曜日も限られるので不便。すぐ隣の氷上町の大塚病院にすら行けない 	<ul style="list-style-type: none"> バスルートやデマンドタクシーの不便さは課題として認識しており、庁内に専門の課を設けて検討しています。 	P61-62 P123
<ul style="list-style-type: none"> 播但連絡道路について、東播地域から上がってくるのを待つのではなく、氷上の方から南へ整備を進めていくようなことも要望していつてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市としては県や国への働きかけをしていますが、逆方向からの整備も含めて検討して働きかけを続けていきます。 	P60 P124
<ul style="list-style-type: none"> 中心部の方針に、「行政機能」が出てこないのはなぜか。 まちづくりビジョンの中に「行政ゾーン」があるのにマスタープランではカットされている。 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりビジョンでは触れていますが、都市マスは実現性の高い計画にするために現時点で決まっているものについて記載しています。 	P9, 54
<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見として「公共交通の不満が多い」とあるが、どのような方法で分析したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート調査を実施して満足・不満を把握し、課題に位置付けて目標や方針に反映しています。 	P33, 38, 48